11 m - 1 x - 12	CEN 1 001	I		1) E 2	甘雅哈丽 / 出	`				
科目ナンバー	SEM-1-001-ky 岸 一弘		科目名	基礎演習 (岸		'ታ*ሖ	2			
教員名	_				2020年度 前		立数			
概要	この授業は大学での「学び方を学ぶ」ものです。高校と大学では、学び方が違います。大学生としての学び方を学ぶのが本演習です。演習の内容は、学術情報収集の方法(図書館の利用法・資料・文献検索法)、授業理解のための聞く技術・読む技術、討論の方法・技術、プレゼンテーションの技術およびレポート作成の技術などを学ぶことになります。									
到達目標	深め、能力をす。本演習は	戦を持ち、課題を発見 ・高めていくことが、 ブ は、これからの大学生 らいとしています。	大学における	- 学びです。これ	は社会に出てか	ゝらも続く、学び	のありた	って		
「共愛12の力」と	 :の対応									
<u></u>		自律する力		コミュニケーションカ		問題に対応する力				
共生のための知	識	自己を理解する力		伝え合う力	0	分析し、思考	する力	0		
共生のための態	度	自己を抑制する力	0	協働する力	0	構想し、実行	する力			
グローカル・マイ ンド		主体性	0	関係を構築すん	るカ	実践的スキル	V	0		
教授法及び課題 フィードバック方 法	の います。演 本授業の前	、演習・実習形式(パ 教育に関わる講演会 習内容については、川 前半は、個々の課題に 話まえた発展課題をク を伝えます。	会を開いたり 順序が前後で 応じた取り	ルます。また、ậ することもありま 組みとレポート!	現睦を深めるた。 す。 是出及び発表を	めのレクリエーシ 行います。後半	ションもí は、各自	ラ の課		
アクティブラーニング		○ サービスラーニング			課題解決	課題解決型学修		0		
受講条件 前	提本演習は、	児童教育コース1年の	の必修授業	です。						
アセスメントポリ シー及び評価方	分の1以上 本演習及び らびにリーク	平常点・授業及び課題への取り組み(50%)レポートの内容・発表について(50%)なお、全授業回数の3分の1以上の欠席者は不合格にします。 本演習及び課題への取り組みでは、コミュニケーションスキルとしての伝え合う力や協働する力、ならびにリーダーシップ、自己を抑制する力、主体性を総合的に評価します。また、レポートの内容・発表では課題理解度、分析し思考する力、実践的スキルを総合的に評価します。								
教材 学びの		「の技法に関わる文献資料を教材とします。								
参考図書 各担当から適宜紹介します。										
内容・スケジュー	ル									
1週目										
授業学修内容	児童教育コース	スへようこそゼミオリ	エンテーショ	ン自己紹介他						
授業外学修内 容	大学での学びに関する文献を参考に、前期にきと。			学びたいことをまとめておくこ		時間数	1			
2週目						•				
授業学修内容	情報収集の方	法1資料・文献の探し	ン方(入手の	仕方のいろいろ	、インターネット	による情報収算	集)			
授業外学修内 容	図書館「聞蔵 ビジュアル」で教育・子供に関すでおくこと。			るテーマで記事	を検索し読ん	時間数	2			
3週目										
授業学修内容	情報収集の方	法2 図書館の利用力	方法ラピタデ	スクの利用方法	法施設見学(宣	牧師館・学生相	談室•4	号館)		
授業外学修内 図書館で関心のある文献を3冊以上借りて読		上借りて読ん	んでくること。		時間数	2				
4週目										
授業学修内容	レポートの作成	战技術1 作成のプロセ	セス・テーマ	選定と資料探し	,					
授業外学修内 容 テーマを決定し、資料を収集し		 」、資料を収集してお	こおくこと。			時間数	2			
5週目										
授業学修内容	チャレンジ奨学	全金体験報告会レポー	ートの作成技	支術2 レポートを	作成する		_			

l				
授業外学修内 容	レポートの構成を考え、Wordで下書きを作成しておくこと。	時間数	2	
6週目				
授業学修内容	スポーツ・レクリエーション交流会(合同ゼミ)体育館で行うので運動着及び上靴を	準備すること。		
授業外学修内 容	レポートを完成させること。	時間数	2	
7週目		•	•	
授業学修内容	シャロン祭の取り組みについての話し合い(前半)パワーポイントの作成方法につい	て(後半)		
	パワーポイントのスライドの作成を進めること。	時間数	4	
8週目		•		
授業学修内容	レポート添削(個人指導)			
	指摘された箇所について、ラピタデスクでの相談を経てから修正しておくこと。	時間数	2	
9週目	<u> </u>	1	<u> </u>	
	2年生のプレゼンテーションから学ぶ			
	2年生の発表を踏まえ、レポートの構成の修正をしておくこと。	時間数	2	
10週目		•	•	
授業学修内容	プレゼンテーションの技法1パワーポイントによるアウトラインの作成			
	次回までにアウトラインを完成させておくこと。	時間数	3	
11週目		•	•	
授業学修内容	教育講演会			
授業外学修内 容	課題感想文を次回提出すること。	時間数	3	
12週目	•	•	•	
授業学修内容	プレゼンテーションの技法2スライドの作成・発表の練習※課題感想文提出			
授業外学修内 容	次回の発表会に向けてプレゼンテーションの練習をしておくこと。	時間数	3	
13週目				
授業学修内容	パワーポイント発表会1(各ゼミ)			
授業外学修内 容	修正版レポートを完成させること。	時間数	2	
14週目				
授業学修内容	パワーポイント発表会2(各ゼミ) ゼミ代表の決定修正レポートの提出			
授業外学修内 容	修正版レポートを完成させること。	時間数	2	
15週目				
授業学修内容	修正レポートの提出ゼミ代表による発表会夏休みの課題の出題ポートフォリオ評値のまとめ方	話法について・:	ファイル	
授業外学修内 容	本演習のまとめをしておくこと。また、夏休みの課題に取り組む準備として、 図書館等で5冊以上の文献を借りること。		6	
上記の授業外学	修時間の合計	38		
その他に必要な		52		
て				

Number	SEM-1-001-ky	Subject	Freshman Basic Seminar I
Name	I岸 一弘(Kishi Kazuhiro)		First semester fo r 2020 Credits 2

Course utline In this course, we will "learn how to learn" at college. The way to learn in college is different fro m in high school. This seminar will teach you how to learn as a college student. The contents will include learning methods for collecting academic information (how to use the library, how to sea rch for materials and documents), listening techniques and reading techniques to understand le ctures, methods and techniques for debating, presentation techniques, and techniques for creating reports.?